

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃		
	電 圧	AC 200 V , DC 250 V				
	電 流	3 A	適合ケーブル	(φ6.5～φ7.3)		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタにDC 1Aで測定する。(MIL-C-2316)	20mΩ以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。(MIL-STD-1344 3003)	1000MΩ以上	○	○	
機械的性 能	耐電圧	AC 1500Vの電圧を 1 分間印加する。 (MIL-STD-1344 3001)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	コネクタの挿抜力	φ0.736 ⁰ _{-0.003} 鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2N以上	○	—	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構は除く。	挿抜力 50N以下	○	—	
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。 (MIL-C-5015 4.6.12.2)	単位コネクタの接触抵抗: 30mΩ以下	○	—	
	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98m/s ² で3方向各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
環境的性 能	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。 (MIL-STD-1344 方法2004条件E)	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
	定常状態の耐湿性	温度71℃, 湿度95%中に336時間放置する。 (MIL-C-5015 4.6.10)	①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—	
	耐水圧性	適合コネクタをカン合した状態で 水深1mに0.5時間放置する。(JIS B 6015)	コネクタ内部に浸水が無いこと。	○	—	
	耐気圧性	適合コネクタをカン合した状態で エア一圧40kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の漏れが ないこと	○	—	
	耐油性	適合コネクタをカン合した状態で切削油に 48時間放置する。	コネクタ内部に油の浸入の無きこと	○	—	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃ で3～4秒間ソルダーク部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○	—	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—	
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。 (MIL-STD-1344, 方法3001 条件B)	機能を損なうような、はなはだしい腐食 がないこと。	○	—	
	耐熱性	温度 +85℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐寒性	温度 -55℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	△の数		訂正記事	設計	検図	年月日
	備考	試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)			承認	HY. KOBAYASHI 18.02.26
	検 図				HY. KOBAYASHI 18.02.26	
	担 当				DS. MATSUNE 18.02.24	
	製 図				AI. NISHIYAMA 18.02.22	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC-117927-31-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR08D-12WLPB-2S (31)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL108-0283-6-31	△ 1/1	